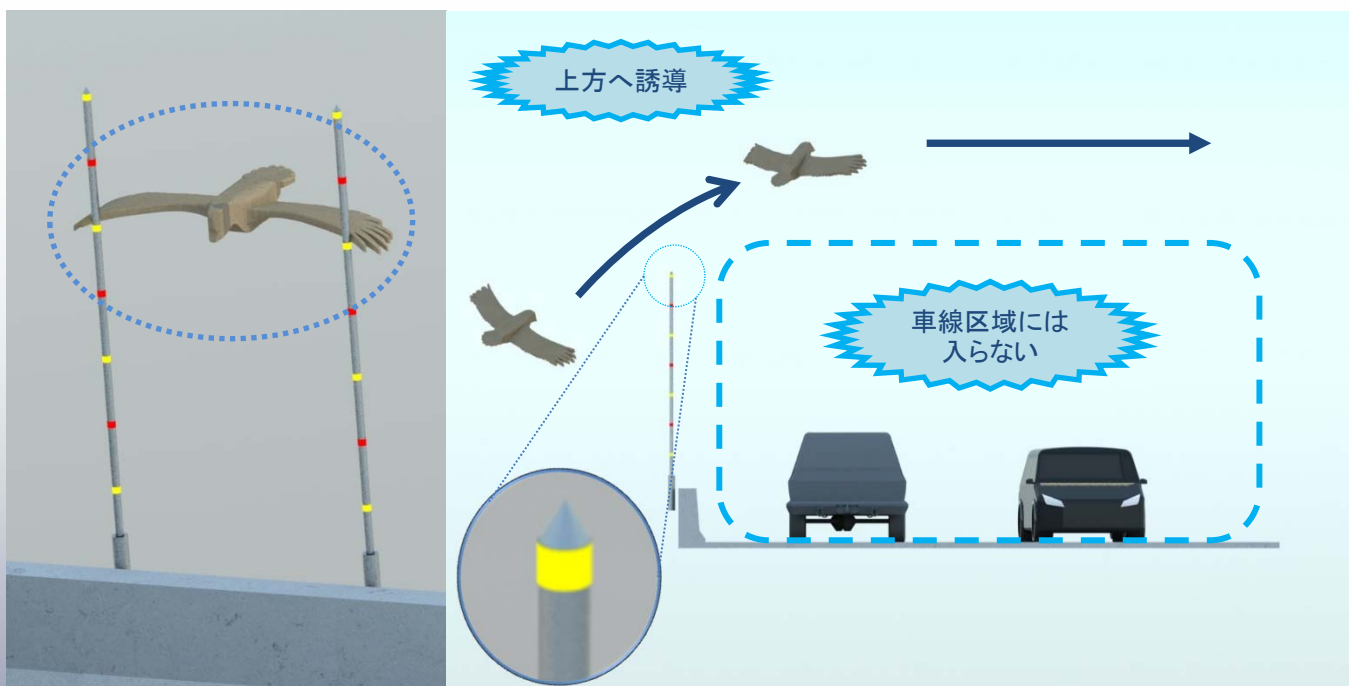


鳥類ロードキル対策製品「防鳥ポール」

橋梁の高欄に設置することにより、道路内へ鳥類の侵入を防止することができ、ロードキル対策及び生態系の保全に寄与できる製品です。



製品概要



鳥類の翼開長よりも狭いパン長であるため、
防鳥ポール内の横断を阻止

鳥類の横断を防鳥ポール上方へ誘導させることで
ロードキルを防止

ポールの先端を円錐形状にすることで、ポールそのものにも
鳥類を寄せ付けず停滞させない

SDGsに基づく防災レジリエンス商品
【持続可能な開発目標 (SDGs) ターゲット】



弊社は道路の交通安全対策製品メーカーとして
「11.2 交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する」
「15.5 生物多様性の損失を阻止し、絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる」
をターゲットにして製品開発に取り組んでいます。

なぜ高欄に集まるのか？

採餌場所：鳥類は魚を主な餌とするため、河川や海浜地域は採餌場所であり、河川に架かる橋梁の高欄は採餌場所として適しています。

育雛場所：橋梁の高欄はとまりやすく、見通しが良いため、幼鳥のとまり場、飛翔練習、給餌場として適しています。

高欄にとまる時、低空飛翔横断するため、**自動車との衝突事故を起こす危険性大**



ロードキルを減少させることで、希少猛禽類への配慮が必要な事業でも活用でき、生態系の保全に貢献します。

飛雪防止柵との併用



※その他にも防鳥ワイヤーとの併用事例有り

本製品の特長

- 1 鳥類が翼を広げた際にポールが邪魔となり、橋梁の横断や高欄へのとまりを防ぎます。また4m以上の柵高であるため、大型車両より上を飛翔させるよう誘導することでロードキルを防止します。
- 2 後施工が可能であるため新設工事の他、既に施工済みの橋梁やロードキルが発生した箇所にも設置することが可能です。
- 3 ポール先端を円錐形状にすることで、ポール天端への停滞を防止します。
- 4 高欄の外側に設置する構造であるため、ドライバーへの圧迫感を抑えることができます。また、ポールが等間隔で並ぶことで見通しが良く、景観を損ねることもありません。ポールに反射シートを貼り付けることで、夜間は視線誘導標としても活用が可能です。
- 5 表面処理に溶融亜鉛めっきを使用しているため、高耐候性を有します。

